

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 459

平成20年 3月10日(月曜日)

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区堂島2-1-31 ORIX堂島ビル5F
 Tel.06-4799-2004 Fax.06-4799-0539

マーケティング

数字に見る団塊世代の退職記念 美意識・嗜好を重んじる消費傾向

2007年は団塊世代(1947~49年生まれ)の定年退職が始まった年である。退職記念に購入したモノ、または購入したいモノには、自動車や大型テレビ、デジタル一眼レフカメラ、旅行、衣料品、楽器といった高額商品が並ぶ。

日経産業地域研究所が2007年の1~9月に定年退職した、いわゆる“団塊のはしり”の男性に「退職金の使い道」のアンケートを実施した。「最近購入した」というベスト5には1位の国産車から順に衣料品・大型テレビ・靴・デジタル一眼レフカメラが並んだ。車13%、衣料品やテレビがおよそ12~11%、靴とデジタルカメラがおよそ7~8%だった。また「近く買いたいモノ」では大型テレビが15%、デジタルカメラ購入予定者も10%を超す勢いを見せている。

それもただ単に高額なら良いわけではなく、「こだわり世代」らしく自分の美意識や嗜好を明確に打ち出す消費傾向と言われている。高級車や楽器は、言うに及ばず個人的嗜好の表れである。旅行や大型テレビは家族のためでもあるが、旅行先やテレビ番組(コンテンツ)・画質などは自分のために考慮する。一方で、日々の小遣いが全体で約20%減り、定年後の生活の格差も拡大傾向であるが、退職記念で自分に贈る「ご褒美」には、己のこだわりを出している。

これを裏付けるかのように、2007年発売の国産高級スポーツクーペが月間受注台数で2,400台を超えたが、購入者の半分近くが50歳以上で、特に団塊世代が中心の様相を呈している。

税務会計

「国の借金」838兆円で過去最大 国民1人あたりで654万円の借金

財務省がこのほど公表した2007年12月末時点での国債や借入金などを合計した「国の借金」は838兆50億円となり、前回発表の昨年9月末時点から4兆3,068億円増加して過去最悪の数字を更新した。1年前の2006年12月末時点からは3兆6,264億円増えた。

一方、地方が抱える債務残高は2007年度末で約199兆円と見込まれており、国と地方を合わせた借金は、重複分34兆円を差し引いても1兆円台を突破する。

昨年12月末時点の国の借金は、1年前に比べ、国債は約4.5兆円増の678.6兆円で全体の約81%を占めた。うち普通国債が約2.8兆円増の534.5兆円とほとんどを占め過去最高となった。財政融資資金特別会計国債は約2.1兆円増の141兆円だった。国債以外では、借入金は対前年比約2.3兆円減の57兆円、政府の一時的な資金繰りに充てる政府短期証券は同約1.4兆円増の102.3兆円となっている。

この「国の借金」838兆50億円は、2008年度一般会計予算案の歳出総額83兆613億円の約10倍、同年度税収見込み額53兆5,540億円の15.7倍である。年収500万円のサラリーマンが7,850万円の借金を抱えていることになる。わが国の1月1日時点での総人口1億2,777万人(総務省統計、概算値)で割ると、国民1人あたり約654万円の借金となる勘定。もちろんこの数字は、赤ちゃんや子ども、ご老人などの未就業者を含めて計算された結果であることに留意したい。

今週のキーワード

こだわり世代

日経産業地域研究所が団塊世代全体(47-49年)へ行った07年調査でも、秘境ツアーやスポーツカーのように個性が尊重されている傾向が窺える。ファッションも含め真似を嫌い、記念日ならなおさら「自分だけのモノ」を求める世代と言える。購入予定品は国産車(15.9%)、大画面テレビ(11.5%)が上位。旅行も活発で、海外旅行へ行った人は15.3%で「近く行く予定」の人も20%を超えている。行き先は、他人があまり行かないこだわりのツアーに人気が集まる。